

令和6年度から国税として徴収される**森林環境税**をご存じですか？  
また、令和元年度から先行して始まっている**森林環境譲与税**のことは、  
知っていましたか？

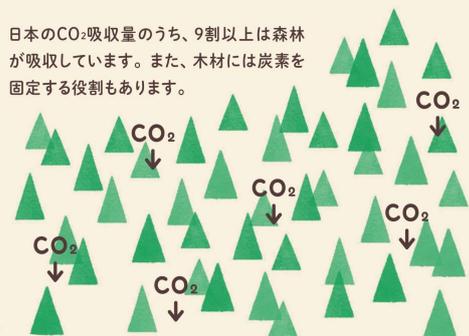
## 「森林環境税」は、1人年額1,000円

『森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律』(平成31(2019)年3月成立)は、「森林環境税」を国民から徴収する目的を次のように記載しています。

第一条 この法律は、森林の有する公益的機能の維持増進の重要性に鑑み、市町村及び都道府県が実施する森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため

要するに、森林の持っている「はたらき」は、人が生活していく上でとても大事であるから、国民みんなで国土の森林の「はたらき」を維持していきましょう、ということです。

日本のCO<sub>2</sub>吸収量のうち、9割以上は森林が吸収しています。また、木材には炭素を固定する役割もあります。



温室効果ガス削減に。

木の根は土を固定して土砂崩れを防ぐとともに、下草や落葉・枝などは表土が流れ出るのを抑えています。



土砂崩れなどの災害を防ぐ。

雨水が落ち葉を通して土中にゆっくり浸透することで、川への急激な流出を緩和するとともに、水を浄化しています。



雨水を地中に浸透させる。

代表的な森林の持つ人にとって「いいはたらき」(林野庁作成のパンフレットより)

農林水産省のホームページには、次のことが記載されています。

所有者や境界が分からない森林の増加、担い手の不足等が大きな課題

### 長野県の林業従事者数の推移

(単位：人)

作業種別	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
保育作業	1,753	1,747	1,454	1,364	1,144	1,198	772	652	632	524	528
素材生産	814	825	1,007	924	878	910	1,017	996	962	975	918
合計	2,567	2,572	2,461	2,288	2,022	2,108	1,789	1,648	1,594	1,499	1,446

**担い手不足は、お金だけでは解決できない問題です。**

# 「森林環境譲与税」は、 森林のはたらきが人のためになるよう使うお金

国民から徴収した「森林環境税」は、次の基準をもとに「森林環境譲与税」として都道府県及び市町村へ配分されます。

私有林人工林面積 50% 林業就業者数 20% 人口 30%

したがって、森林の少ない都市部でも多くの人口を抱えているため、森林の多い市町村よりも多額に配分されることがあります。

**都市部との連携、知恵と工夫が試されていると言えます。**

「森林環境譲与税」の使い道は、次の内容が挙げられます。

## 【普及啓発】

森林に関する市民講座、シンポジウム等の開催  
木材利用の促進を図るため、都市部自治体内で開催されるイベントに、上流自治体と共同出展  
森林環境教育プログラムやパンフレットの作成、受け入れ体制の整備  
都市・山村の子供たちの交流植林活動を行うため、植林地の整備や苗木購入等を実施 など

## 【人材育成】

林業事業体、林業従事者への支援  
研修生への支援  
研修の実施  
担い手確保のための情報発信  
市町村体制の確保 など

## 【木材の利用】

施設の木造・木質化  
木製品の制作・利用  
木材利用のための体制整備 など

## 【森林整備】

人工林の整備等  
林道や作業道の整備  
鳥獣被害、森林病虫害対策  
災害対策  
計画策定・森林情報整備等  
都市部自治体による  
山村部自治体の森林整備など

## 小谷村の実績

「森林環境譲与税」は、令和元年度から先行して配分されています。令和4年度までの実績は、以下のとおりです。

年度	譲与税交付額	支出	基金へ積立	備考
元	3,832,000円		3,832,000円	
2	8,144,000円		8,144,000円	
3	8,177,000円		8,177,000円	
4	10,788,000円	5,479,375円	5,308,625円	小学校周辺の間伐、イベント開催等へ支出

担い手が少ない現状では、森林整備を大きく展開することには無理があります。村では、将来の担い手を育成する上で森や木を好きになる人を育てることに重点を置き、優先順位を次のとおりに考えています。

1 普及啓発 → 2 人材育成 → 3 森林資源活用 → 4 森林整備

3月18日、19日開催の『第2回あたりの森と木であそぼうよ』もその一環でした。

今後、説明会を計画しますので、ご意見、ご要望等をお寄せください。

次号予告  
『樹木に咲く花たち』